

## チンチラを迎えるなら…

- お迎えを決意すれば、生活の準備と共に調べておかなければいけない事があります。体調不良やケガの治療、定期的な健康診断をしてもらう為に「チンチラを診られる」通院可能な動物病院を探しましょう。チンチラをはじめとする小さな生き物を診ていただける獣医師は、その数がまだまだ少ないので現状です。事前に見つけておき、お迎えしたら早い段階で最初の健康診断に連れて行くと良いでしょう。体調の変化に気付いた時にあわてないように、また、急な体調変化に対応する夜間・救急病院などの場所もあわせて探しておきます。
- かわいいチンチラが家にやってきたら、早く触れ合いたいと思うでしょう。しかし、いきなり撫で回したり、奪い合って触れ合おうとしないで下さい。チンチラは初めての場所で怯えています。まずは、これからの住居となるケージにそっと入れてやり、静かに休息をとらせ、周りの環境に慣らしていきます。触れ合うときも、驚かさないように優しく声をかけて、少しずつ人に慣らしていきます。
- チンチラはとても俊敏で、跳躍力もあり1m位の高さなら楽々と飛び上がる事ができます。また、体の大きさよりも狭い場所にも入り込んでしまうことがあります。好奇心も旺盛で、かじれそうな物はかじろうとしますので、ケージの外に出してあげる時は、コンセントや電源プラグ、コード、かじられたく無い家具や小物、観葉植物（口にすると毒性のある物があります。）など、危険な隙間や場所が無いか確かめ、チンチラが触れない場所に移動させたり、塞いだりガードしておきましょう。
- しつけと称して、チンチラを叩いたり、罰を与えないで下さい。チンチラは臆病でストレスに弱い生き物です。体罰は体の小さなチンチラにとって強い衝撃で、体への影響も大きすぎます。



### ●大切なお願い●

-- チンチラは生きています --

チンチラを飼うときはその命が終わるまで、飼い主としての責任と愛情をもって飼育して下さい。全てのチンチラが、常に健康で人間の思い通りになるわけではありません。飼い主のわがままから途中で見放したり、世話を怠らないようにしましょう。その為にもチンチラの生態について飼い主がよく理解をしておくことが、とても大切です。生き物は予測不可能な行動をするときがあります。飼育用品は数多く販売されていますが、全てをカバー出来る物ではありません。その用品が自分の飼っているチンチラに合っているか見極め、事故が起こる前に対応してあげるのも飼い主の責任です。ペットの飼育は奥が深く、その生き物によって、それぞれ知っておかなければいけないことがあります。この冊子を入り口に、より詳しい解説が載っている、専門の飼育書を読んで知識を深めるようにして下さい。



株式会社 三晃商会  
〒562-0035 大阪府箕面市船場東2-3-54  
TEL:072-728-3001 www.sanko-wild.com

4 976285 341502



飼い方ブックレット⑤  
チンチラとの暮らしを楽しむ

# Happy life Chinchilla ハッピーライフ チンチラ

真綿に触れるようなフワフワな手触り、  
器用に動く小さな手…  
澄んだ丸い目に見つめられたら  
もう、心はチンチラの虜。

チンチラと生活を共にするために、必要な事柄を  
考えて行きましょう!

この不思議でチャーミングな生き物「チンチラ」と  
一緒に暮らすためには、チンチラという生き物を知り、  
生態に合った飼育方法で、正しく接する事が必要です。

用意しておきたい基本的な用品などを中心に、  
彼らとの奥の深い生活への入り口にご案内します。

SANKO

<http://www.sanko-wild.com/>

Y15  
0821

# チンチラとは

チンチラは、ネズミなどの仲間、齧歯目に属するチンチラ科の生き物で、南アメリカのアンデス山脈が原産です。軽く柔らかな皮毛を持ち、丸みのある体、小さな前足を上手に使ってエサを食べる仕草はなんともいえないかわいさがあります。見かけからは意外に動きは俊敏で、その跳躍力は、アンデスの岩山を飛びまわって生きていた事を証明するようです。

乾燥した高地の生き物ですので、温度湿度の調整などの環境管理が大切です。平均寿命は15~20年と長く、一度飼い始めれば人生のパートナーとして長い間お世話を続ける事になります。飼える環境を維持し続けられるかを考えてからお迎えするようにしましょう。



# チンチラの住まい



## 巣箱

チンチラが安心できる場所として、巣箱を用意します。高いところに飛び上がるが大好きなチンチラのために巣箱はケージの上のほうに固定します。かじる事が大好きなので、巣箱をはじめとしたケージの中の用品は、消耗品と考え、安心してかじれる素材で、作られた物を入れると良いでしょう。



## エサ皿

ペレット状のフードなどを入れるためのエサ皿を用意します。

重みがあり、かじりにくく陶器などの素材の物が良いでしょう。



## 給水ボトル

いつでも新鮮な水が飲めるように、給水ボトルを用意します。中の水は毎日入れ替えて下さい。

## かじり用品

歯の状態を維持したり、ストレスの解消やミネラル補給の為に、チンチラは様々な物をかじります。飼育環境には自由にかじれる、かじり木や軽石などを用意してあげましょう。



## ステージ

飛びまるのが大好きなチンチラのために、空間を立体的に移動できるように足場を作つてみましょう。巣箱への道として、休息場所として…過ごしやすいようにレイアウトしてあげましょう。



## 砂浴び容器

チンチラにとって毎日の砂浴びは健康維持の為に欠かす事のできない物です。

細く、密度が高いチンチラの皮毛に行き渡らせる為には、砂浴びに使う砂は、砂目がかなり細かい砂でなければ意味がありません。(チンチラ専用の砂が売られています。)

細かな砂は軽く飛び散りやすいので、砂浴び用の容器は砂浴び中に飛び散った砂が容器の外に漏れにくい構造の物が良いでしょう。



毎日必要ですが、短い時間で十分です。砂浴び容器をケージの中に長い時間入れていると、手足が乾燥しそうたり、中をトイレにしてしまいますので、砂浴びをしているのを確認したらケージから取り出しておきます。

## チンチラの食事

チンチラは完全な草食の生き物で、粗食から栄養を効率よく採れるようにできています。したがって、過剰な栄養は、かえって体調不良に陥ってしまう恐れがあります。

飼育下では「高繊維・低脂肪」の食事を心がけて与えましょう。牧草は繊維が豊富で噛む回数を多く必要とするため、一生伸び続ける歯を研磨する効果があり、チンチラの健康の為に、常に食べられるように与えてあげましょう。

加えて、それだけでは不足しがちな、チンチラに必要な栄養を補い、安定して与える為に専用のペレットフードを与えるようにします。



## 水

いつでも新鮮な水が飲めるように給水ボトルなどを利用して与えます。毎日、中の水は入れ替え、できれば朝夕2回入れ替えてあげて下さい。飲み水は基本的に水道水で充分です。人間が飲むミネラルウォーターや温泉水は適していないので、与えないようにしましょう。



## 補助食

原則的に、良質な牧草やペレットフードが必要量摂れていれば必要が無い物ですが、コミュニケーションのきっかけやおやつとして少量与えると良いでしょう。

草食の生き物ですが、水分の多い、生の野菜や果物はお腹を壊す場合があります。草食の小動物用の乾燥野草やフルーツ等は手軽に与えられる補助食の一つです。



また、乳酸菌やビタミン剤など色々な効能が期待できるサプリメントもあります。使用する時は獣医師と相談の上、体調に合わせて使用すると良いでしょう。



副食やおやつとして牧草や専用フードを与える時は、それがどんな影響を与えるか調べてからにするようにして下さい。チンチラは口にする物が、食べて良い物かどうかを自分で判断することができません。

欲しがるからといって、不用意に食べさせてはいけません。中には人間が安全に食べられてもチンチラにとっては毒になる物もあり、注意が必要です。

また、人間用に加工されたものは与えないようにしましょう。